

吹田市立図書館の基本方針と目標

1 基本方針

吹田市立図書館は、「ユネスコ公共図書館宣言」などに謳われた公立図書館の理念に基づき、必要な資料を「いつでもどこでもだれにでも提供する」、市民本位の図書館サービスを行うとともに、我々の使命である《資料・情報の提供と保存を通じて、市民の社会的活動や子供の成長を支援するとともに、生活に潤いを与え、よって吹田のまちづくりと地方自治発展に役立つ》図書館事業の展開を図ります。〔吹田市立図書館基本構想による〕

2 運営方針(五つのお約束)

(1) さがしものは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたが欲しい資料を必ず見つけます。

(2) 知りたいことは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたの疑問に必ず答えます。

(3) 困っていることは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたの生活をサポートする情報を必ず提供します。

(4) やりたいことは何ですか。

吹田市立図書館は、あなたのヤル気を必ず応援します。

(5) 地域資料の収集と活用に努め、必ずまちづくりに貢献します。

〔市内全体の状況〕

面積: 36.09 km²

市内には 4 つの家庭文庫や地域文庫があります。

図書館統計は令和2年度末(自動車文庫を含む)

項目	数値	
人口	376,944 人	※人口は令和3年3月末現在、外国人登録者を含みます。登録者は広域利用者在勤在学者を含みます。実利用者は市民のみで、団体貸出等は含みません。
うち0歳~14歳	52,613 人	
登録者数	104,313 人	※平成25年4月「吹田市立図書館基本構想」の制定にともない、中央図書館及び7つの地域図書館並びに2つの分室でサービスしています。
市内の実利用者数	49,371 人	
延利用者人数	652,074 人	
来館者数	1,089,679 人	
個人貸出点数 (含む AV 全館分)	2,504,847 点	
年間購入冊数	80,615 冊	※年間購入冊数は、健都ライブラリー新設購入分を含む冊数です。
蔵書数	1,138,249 冊	

3 アクションプランに沿った主な事業計画と目標

平成 25 年(2013 年)4 月 1 日策定の吹田市立図書館基本構想に示された、各種の事業の進捗状況を点検しながら、その実現を図っていきます。全館で取り組む課題を以下にまとめます。

基本目標 1

地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。

取組み 1 図書館施設及びサービス網の整備

事業名	目 標	
第 2 次図書館基本構想の策定	◎平成 25 年(2013 年)4 月策定から 10 年を経て、国・社会の動向や図書館の現状と課題を踏まえ、令和 5 年(2023 年)3 月を目標に、次の 10 年間の図書館活動の指針となる第 2 次吹田市立図書館基本構想を策定します。今年度は、素案を作成するとともに、その参考とする市民アンケートを実施します。	
サービス網の整備	北千里小学校跡地複合施設の整備	◎北千里小学校跡地における複合施設の建設工事の実施及び、指定管理者による管理・運営の実施に係る事業者の選定を行います。
	江坂図書館の再整備	◎江坂公園及び江坂図書館における Park-PFI (※1) による再整備並びに指定管理者による管理・運営の実施に係る事業者の選定を行います。 ◎江坂花とみどりの情報センター跡を、江坂図書館の閲覧スペースとして令和 3 年度は暫定利用します。
	自動車文庫次期事業	◎令和 2 年(2020 年)11 月の健都ライブラリー開館に伴い、自動車文庫車両による巡回を令和 3 年(2021 年)8 月末で終了します。一部残る利用不便地域 6 か所には予約配本を開始します。 ◎令和 3 年(2021 年)9 月から小中学校への定期連絡便を運行します。
広域連携の推進	◎NATS(西宮・尼崎・豊中・吹田)図書館連絡会の立ち上げ会を経て、連携の方向性を探ります。 ◎市の規模が同規模の近隣中核市の統計数値と比較し、今後の図書館運営に活用します。	

取組み2 利用促進

事業名	目 標	
年間貸出冊数の目標達成（個人貸出）	貸出点数	4, 240, 000点
貸出機能の向上	◎非来館、非接触による貸出に関する各種手続きの導入方法を探ります。	
広報・情報発信機能の推進	◎令和3年（2021年）1月に更新した新しい図書館ホームページ内のページ構成を見直し、利用者が情報を得やすいホームページを目指します。 ◎Twitter や Facebook を用いた情報発信について、発信内容や頻度等について見直します。	

取組み3 資料と情報の提供

事業名	目 標
成人サービス	◎「図書館講座じゅずつなぎ」（※2）を10～11月にかけて各図書館で実施します。 ◎パスファインダー（※3）「認知症」の改訂を行います。
レファレンス（調査相談業務）	◎国会レファレンス協同データベース（※4）への事例登録を今年度も積極的に行います。また、パスファインダーについても登録をすすめるよう準備を行います。
地域資料の収集・保存と活用	◎写真データの保存と管理について、関係部署と協議を行い、今後の方向性を探ります。 ◎AV資料（レコード・カセットテープ・ビデオ）の保存について、デジタル化に向けて準備を行います。
行政支援サービス	◎市がデジタルでのみ発行した資料の収集・保存について、今後の方向性を探ります。
児童サービス	◎令和2年度（2020年度）に選定を行った「市民が選ぶ子どもたちに読ませたい100冊の本」（※5）の改訂版について、10月末の読書週間にあわせて小冊子を作成し、館内でも特設展示を行います。
YAサービス（※6）	◎令和3年（2021年）1月にリニューアルした図書館ホームページにあわせて、YA向けページの充実を図ります。ドラマ、アニメや映画化された作品のリストについては、随時更新をします。

基本目標 2

生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。

取組み 1 施設や地域との連携

事業名	目 標
吹田市出前講座の充実と活用	◎実施した出前講座の様子や実施件数を図書館ホームページで情報発信することで、次の需要を掘り起こしていきます。
吹田市各部署との連携	◎博物館、環境政策室、保健センターなど吹田市各部署と連携を進め、生涯学習の推進と図書館利用の促進を図ります。

取組み 2 自己実現の援助

事業名	目 標
ボランティア活動の推進	◎図書館フレンズ（※7）について、50名以上の登録を目指し、周知・宣伝方法の工夫をはかります。 ◎ボランティア養成講座の実施と修了者の登録促進や活動継続促進のための働きかけを行います。
市民参加の推進	◎市民作品展（※8）など市民参加の企画を実施します。

取組み 3 図書館利用に障がいのある人へのサービスの充実

事業名	目 標
障がい者サービス	◎「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」が成立したのを受け、市の基本的な施策の方向性を示すとともに、取組みを推進するための指針として、「吹田市視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画（吹田市読書バリアフリー計画）」の策定に取り掛かります。（令和3年度～4年度） ◎障がいに応じたサービスや資料の充実を図るため、録音図書100タイトル、点字図書25タイトル製作します。また、全館においてピクトグラム掲示などサインを充実させます。 ◎対面朗読の環境整備を進めます。
来館困難者へのサービス	◎非来館型サービスの一環として、電子図書館サービスを導入します。令和3年度（2021年度）、約1,000点を購入します。

取組み4 特色あるサービス

事業名	目 標
ビジネス支援サービス	◎ビジネスをテーマとした講座を今年度も1回開催します。 ◎「ビジネス支援だより」を起業家交流会の開催に合わせて年2回発行します。
健康・医療情報サービス	◎近隣の医療機関と連携し、講座を実施します。 ◎健都ライブラリーを中心にブックリストやパスファインダーを作成し、健康・医療情報に関する情報発信を行います。

基本目標3

子育てや学校の支援を通して、子供の健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。

事業名	目 標
子ども読書活動推進計画	◎平成25年（2013年）3月の改訂から7年を経て、国・社会の動向や子どもの読書活動を取り巻く状況の変化をふまえ、「第2次吹田市子ども読書活動推進計画」の策定に取り掛かります。 （令和3年度～4年度）
子育て支援サービス	◎ブックスタート（※9）の絵本配布率の向上を目指します。保育園の赤ちゃん会や離乳食講習会に参加し、事業の説明、絵本の配布を行います。また、全館で「抱っこで絵本講座」（※10）を開催し、保護者への読書支援を行います。実施にあたっては、コロナ禍の中、オンラインでの発信についても検討します。
学校連携	◎令和3年（2021年）9月から小中学校等への連絡便を運行し、定期的な物流を確保します。
子ども読書活動支援センター（※11）	◎中央図書館に子ども読書活動支援センター機能を設置し、子どもの読書に関わる活動を行う団体等への支援を統括的に行う準備をします。

4 吹田市立図書館各館の運営について

4-1) 中央図書館

[中央図書館のキャッチフレーズ]

25万冊の資料は吹田市民の宝。古い地図や絶版本など、貴重な資料が一杯です。

市立図書館の中心館として、皆さんの知的活動を支えます。

[令和2年度の課題]

- 耐震補強・施設改修工事が完了し、令和3年1月12日に再開館しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者数は伸び悩みました。内装が新しくなり、バリアフリー設備も整備され、またAV資料も新たに設置されたことで利用者には好評をいただいています。
- 書庫資料の整備が一部残課題で残っています。

[令和3年度の目標]

中央図書館として

○第2次図書館基本構想

8月に市民アンケートを実施し、関係団体の意見も聴取しながら、地域図書館の状況をとりまとめて中央図書館で素案を作成します。

○吹田市立図書館の中心館として、「子どもと本のまつり」(※12)や「図書館講座じゅずつなぎ」などの全館で行う様々な主催事業や各種サービスの企画調整を行います。

○地域行政資料

吹田市民の著作物、地域を主題とした資料、および吹田市が刊行する行政資料など、吹田市立図書館でしか収集・提供できない地域行政資料を網羅的に収集・提供します。録音、映像、写真、パンフレットなどの資料も積極的に収集・整理し保存活用をすすめます。

○子ども読書活動支援センター

9月から「子ども読書活動支援センター」を設置し、学校や読書活動を行う施設・団体を支援します。定期連絡便による学校への団体貸出、教員や読書活動支援者への研修、市民向け出前講座や講師派遣の事業を行います。

○「市民が選ぶ子どもたちに読ませたい100冊の本」

選定した児童書を紹介する冊子を作製し、10月～11月中に市内小中学校や関係団体に配布します。それにあわせて、全図書館に特設コーナーを設置し冊子と共に本を展示します。

○児童サービス

ガンバ大阪の協力を得てガンバ大阪プロパティ（ロゴ）と吹田市イメージキャラクター「すいたん」を使用した「読書貯金（すいぼんつうちょう）」（※13）を作成しました。楽しみながら読書に親しめるよう、市内全小学生に5月から6月にかけて配布します。

○電子書籍

7月から供用開始のための準備をすすめます。

片山地区の図書館として

○令和2年度のリニューアル開館の際に新たに導入したAV資料について、充実を図ります。

自動車文庫

○自動車文庫バスの廃止及び次期事業の開始

健都ライブラリーの供用開始に伴い、図書館網の整備が完了し、図書館未整備地域・利用不便地域はほぼ解消されることとなりました。それに伴い、自動車文庫バスの巡回は令和3年（2021年）8月末で終了します。9月より利用不便地域6カ所に予約資料の配本を試行します。

[施設概要] 統計数値は、令和2年度末

供用開始	昭和46年(1971年)11月25日。 令和3年(2021年)1月12日リニューアルオープン。
専用床面積	3452.84㎡
来館者数	51,044人
個人貸出点数	126,085点
蔵書数	286,706冊

※統計数値には、自動車文庫を含みます。

※来館者数、個人貸出点数、令和2年12月16日までは、臨時窓口の数値。

4-2) 千里図書館

[千里図書館のキャッチフレーズ]

図書館はあなたの居場所です。図書館デビューしませんか。

千里図書館は、あなたの生きがいを応援します

[令和2年度の課題]

千里図書館

- 多目的室の利用促進
- 起業コーナーの利用促進

北千里分室

- 北千里地区公民館との連携促進

[令和3年度の目標]

千里図書館

○多目的室の利用促進を図ります。児童向け行事、親子がのんびりと読書できる「親子わくわく読書ひろば」(※14)、成人向けの講座の開催等、地域の交流拠点となるよう積極的に活用します。

○地域経済振興室と連携し、平成29年から設置した「起業コーナー」を充実させます。

○健康・医療情報サービスでは、資料を充実させ情報の提供を積極的に行います。地域の医療機関との連携による講座をひきつづき開催します。

北千里分室

○同じ施設にある北千里地区公民館との連携をより一層すすめます。

公民館だよりへの「図書室だより」の掲載や公民館の主催講座に関連する資料を集めた特設コーナーを設置し、講座参加者の図書館の利用促進を図ります。また、北千里分室の利用者への公民館主催講座のPRにも努め、公民館の活動に寄与します。

○令和4年度の北千里図書館への移転・供用開始に向けて、資料の整理・収集に努めます。

[施設概要] 統計数値は、令和2年度末

供用開始	昭和53年(1978年)4月1日。 平成24年(2012年)9月3日現在の場所に移転。
専用床面積	930.94㎡
来館者数	212,182人
個人貸出点数	552,324点
蔵書数	130,742冊

※統計数値には、北千里分室を含みます。

※北千里分室 昭和56年(1981年)4月1日供用開始。専用床面積155㎡。

4-3)さんくす図書館

[さんくす図書館のキャッチフレーズ]

JR吹田駅から徒歩1分！ 近くて便利な図書館です。

子育てからまちづくりまで

[令和2年度の課題]

- シニアコーナーを設置します。
- サービス区域内の幼稚園・保育園全園を訪問して読み聞かせ等を行います。

[令和3年度の目標]

- シニアコーナーの充実と利用促進をはかります。関連するパンフレットや認知症パスファインダー等を設置し、資料の見せ方に工夫をこらします。
- サービス区域内の幼稚園・保育園全園に訪問の希望を聞き取り、読み聞かせ等を行い、子どもたちの読書活動と図書館の利用推進をはかります。
- 高齢福祉室と連携し、認知症パスファインダーを改訂します。図書館ホームページに掲載するとともに、地域包括支援センター等関連部局に配布します。
- 「JOBなびすいた・JOBカフェすいた」と連携し、ハロージョブコーナーの充実と利用促進をはかります。

[施設概要] 統計数値は、令和2年度末

供用開始	平成5年(1993年)7月1日
専用床面積	883m ²
来館者数	120,698人
個人貸出点数	234,705点
蔵書数	80,181冊

4-4) 江坂図書館

〔江坂図書館のキャッチフレーズ〕

暮らし・ビジネス・文化、緑のまちの江坂図書館
企画書の書き方から里芋のむきかたまで・・・お役に立ちます

[令和2年度の課題]

- 国・府・市などの関連施設と連携したビジネス支援

[令和3年度の目標]

- 令和4年度以降の図書館拡張に向けた、子育て支援や園芸に関する資料の充実をはかります。
- 江坂花とみどりの情報センター跡を活用して定員を増やし、ビジネス講座を開催します。
- ビジネス支援の取り組みとして、有料オンラインデータベースの利用促進をはかります。
- 江坂花とみどりの情報センター跡を利用した、親子がゆっくり寛げるスペースを確保します。

[施設概要] 統計数値は、令和2年度末

供用開始	平成8年(1996年)4月1日
専用床面積	511.57㎡
来館者数	153,093人
個人貸出点数	334,560点
蔵書数	57,169冊

4-5) 千里山・佐井寺図書館(ちさと)

[千里山・佐井寺図書館のキャッチフレーズ]

知的にまなぶ！あそぶ！つどう！

地域の方に愛された小学校校舎を再現した、居ごちのいい図書館です。

[令和2年度の課題]

- 地域住民の交流や文化活動・学習活動を支援するために、多目的室等の有効活用を図ります。
- 障がい者サービスの拠点館として、音訳・点訳図書の製作・借出や対面朗読などの障がい者サービスを行います。
- 障がい者サービスボランティアを養成します。

[令和3年度の目標]

- 文化活動・学習活動の場として、多目的室や復元教室の有効活用をはかります。
- コロナ禍においても、障がい者へのサービスが提供できるように、多様な手法を工夫します。
- 年間約27万人の市民が来館する図書館として、安心・安全・快適な読書環境を提供するために、新型コロナ感染防止に努めつつ、築17年を経過した施設・設備の修繕・更新をすすめます。

[施設概要] 統計数値は、令和2年度末

供用開始	平成16年(2004年)5月19日
専用床面積	3327.58㎡
来館者数	231,847人
個人貸出点数	393,713点
蔵書数	303,659冊

4-6) 千里丘図書館

〔千里丘図書館のキャッチフレーズ〕

**環境にやさしい、子育てにやさしい、
障がい者や高齢者にやさしい**
「やさしい」をコンセプトに、生活に寄り添った図書館を目指します

〔令和2年度の課題〕

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、行事の実施回数が減り、図書館を幅広い世代の交流の場として活用してもらえませんでした。
- 臨時休館の影響で市民作品展示の応募が減少しました。

〔令和3年度の目標〕

- 多目的室を活用し、地域の交流の場となるような図書館を目指します。
イベントの実施が可能になった時点で今年度予定していた講座・行事を順次開催し、コロナ禍以前の行事開催数と同じになるよう目指します。
- 子育て世代から高齢者まで様々な世代に対して自己発表の場を提供するため、市民作品展示を積極的にPRし、毎月2人以上の利用を目指します。
- 時節に合った特設コーナーの設置や、おすすめ本セットの対象や種類を増やすことで、ステイホーム期間中の地域住民の読書活動を支えます。

〔施設概要〕 統計数値は、令和2年度末

供用開始	平成25年(2013年)1月9日
専用床面積	840.37㎡
来館者数	109,577人
個人貸出点数	299,701点
蔵書数	71,055冊

4-7) 健都ライブラリー

[健都ライブラリーのキャッチフレーズ]

健康に「気づき」「楽しみ」ながら「学べる」図書館

隣接する公園と一体的に利用することで、健康づくりのお役に立ちます。

[令和2年度の課題]

- 11月11日に供用開始をしましたが、コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館や開館時間の短縮などで、利用が伸び悩みました。
- 健都(北大阪健康医療都市)内の病院との連携を図り、資料提供などを受けることができました。コロナ禍での連携推進が課題です。

[令和3年度の目標]

- 健康・医療・スポーツコーナーの資料の充実を目指し、現在5000冊を配架している書架の充実を図ります。
- 健都内の病院との連携をさらに進め、講座や行事を企画し、年2回以上の開催を目指します。
- 指定管理者と共に講座や行事を企画し、ブックリスト作成や特設など、連携をしていきます。

[施設概要] 統計数値は、令和2年度末(令和2年11月11日～3月末)

供用開始	令和2年(2020年)11月11日
専用床面積	1859.16㎡
来館者数	58,219人
個人貸出点数	92,665点
蔵書数	51,632冊

4-8) 山田駅前図書館

[山田駅前図書館のキャッチフレーズ]

「つながり」を活かす図書館

- 青少年支援・子育て支援とのつながり 連携に重点を置いた図書館サービスの展開
- 地域とのつながり 地域の拠点として図書館サービスの充実
- 図書館ネットワークとのつながり いつでも、どこでも、だれにでも資料の提供を

[令和2年度の課題]

- 地域の博物館との連携の強化

[令和3年度の目標]

山田駅前図書館

- 国立民族学博物館との連携: 10月頃にお互いの資料、職員を派遣して講演会、展示、読み聞かせを開催します。
- 吹田市立博物館との連携: 11月の博物館出張展示に合わせて講演会を開催します。

山田分室

- 山田分室に所蔵していない視聴覚資料、外国語資料、障がい者向け資料マンガ、などを山田駅前図書館などから借り受け展示、貸出しします。

[施設概要] 統計数値は、令和2年度末

供用開始	平成23年(2011年)3月27日
専用床面積	930.94㎡
来館者数	153,019人
個人貸出点数	471,094点
蔵書数	157,105冊

※統計数値には、山田分室を含みます。

※山田分室 昭和62年(1987年)4月1日供用開始。

(平成23年(2011年)3月26日から分室) 専用床面積 379.82㎡。

図書館語句解説

※1 Park-PFI

飲食店等の「公募対象公園施設」の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の広場等の「特定公園施設」の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度。(平成29年(2017年)都市公園法改正により創設。

令和4年度(2022年)以降、江坂公園においてPark-PFIが導入され、公園の再整備が行われることから、江坂図書館においても一体的な魅力向上をはかるため再整備を行う。

※2 図書館講座じゅずつなぎ

平成16年度(2004年)から毎年10月から11月にかけて一般向け講演会として全館で行っている。じゅずのように連続して次々に各館で実施することから名づけられた。当初は、吹田市にゆかりの講師や、文化についてのテーマを設定していたが、現在は各館で趣向をこらし、市内各施設と連携するなどバラエティに富む構成となっている。

※3 パスファインダー

パスファインダーとは、ある特定のテーマについて、資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたもの。基本的に吹田市立図書館を使って調べものすることを念頭に置いて、現在、一般向け3種、児童向け2種作成。

※4 国立国会図書館レファレンス協同データベース

国立国会図書館が全国の図書館や調査機関等と協同で構築する調べ物のための検索サイト。参加館の質問・回答の事例、調べ方など、調査に役立つ情報を公開している。吹田市立図書館も平成17年(2005年)から参加している。一般公開登録とはレファレンス事例の登録の際に、図書館関係者以外も閲覧可能なレベルを選ぶこと。事例がインターネットで公開される。

※5 市民が選ぶ子どもたちに読ませたい100冊の本

子どもたちの読書活動を推進するための取り組みとして平成21年7月に「子どもたちに読ませたい100冊の本」(読書百選)を選定。選定から10年以上が経過したことを受けて、推薦図書の内容を改訂。

※6 YAサービス

YAとはヤングアダルトの略で、吹田市立図書館では12歳～18歳を対象としたサービスをいう。YAコーナーなど、中・高生の興味・関心にこたえる読みやすい本や役立つ本を別置しておくなど一緒にイベントや本の紹介などを行うYAサポーターなどの取り組みがある。

※7 図書館フレンズ

平成24年(2012年)から個人登録のボランティアとして図書館が募集し、活動しているグループの名前。当初、前年度の3月に募集していたが、平成31年度(2019年度)より通年募集を開始した。年度末までの登録。図書館の装飾、行事の補助、データ入力等様々な活動の中から、都合の良い時間にできることを選び、活動をしていただく、市民協働事業の一種。

※8 市民作品展示

千里丘図書館において、市民の作品を2ヶ月ごとに募集して館内に展示し、来館者に楽しんでもらっている企画。平成28年度より実施。

※9 ブックスタート

ブックスタートの発祥は英国バーミンガム市。国の法律・計画の制定時にも明記されることとなった。絵本を通じて親子の絆を深め、心豊かな成長を支援することを目的とする。吹田市では、絵本のプレゼントとボランティアグループ「りんごの木」の協力のもと、0歳・1歳の赤ちゃんとその保護者を対象に、絵本の読み聞かせや手遊び・わらべうたの実演を行う「ブックスタートのひろば」を実施。

※10 抱っこで絵本講座

1歳児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせについて学ぶ3回連続の講座。読み聞かせの意義や年齢に合った絵本の選び方、読み聞かせの仕方を学んでもらう。実際に親子で絵本を読んでいただき、読むスピードやページをめくるタイミングなどを具体的に学ぶ。

※11 吹田市子ども読書活動支援センター

「吹田市立図書館基本構想」(平成25年(2014年)3月策定)の第2章図書館サービス計画の中で学校、幼稚園、保育園、児童会館、児童センターとの連携を進めるための、図書館の総合的な支援体制機能。一部実施中の事業もあるが、学校との定期的な物流の確保が大きな課題となっていた。

※12 子どもと本のまつり

平成 31 年度(2019 年度)で第 36 回を迎える子どもと本のまつりは、子供に本を読む楽しさや喜びを知ってもらうために、文庫の方々や子供の本の研究を続ける市民で構成される「吹田子どもの本連絡会」との共催で毎年 4 月 23 日(子ども読書の日)から約 1 か月間、講演会や工作教室、似顔絵大会、おはなし会などの子供向け行事を全館で行っている。令和2年度は、緊急事態宣言発令による臨時休館により中止。

※13 読書貯金(すいぼんつうちょう)

小学生を対象に読書振興のために配付している読んだ本の感想などを記録できる小冊子。1 冊いっぱいになると「にんていしょう」に貼るシールをお渡しする。

※14 親子わくわく読書ひろば

就学前の乳幼児と保護者に千里図書館多目的室に集ってもらい、お互いが周囲を気にせずに絵本や紙芝居等を楽しむ時間を過ごしてもらうもの。